

令和3年度事業報告

新型コロナウイルス感染拡大防止に努めた事業運営を行いました。災害時・緊急時の外国人支援体制の充実・強化として、関係する職員全員が県または自治体国際化協会主催の研修を受講しました。ワールドキャラバンでは、県内とインドネシアの高校生同士がオンライン・ライブ交流を行いました。休日出張無料弁護士相談では、相談者と弁護士との対面、および、会場にいる相談者がモニターを通し弁護士と相談するという開催時期のコロナ感染状況により工夫して実施しました。外国人による日本語スピーチコンテストは、スピーチ発表は無観客のホールで行いYouTubeで公開生配信しました。

1 共に目指す多文化共生社会づくり

(1) 外国人が安心して生活できる環境の整備

① コミュニケーション支援

外国人が生活していく上で県民としての様々な情報が得られるよう、多言語によるホームページ、フェイスブックや外国人支援図書など多様な媒体により情報提供を行いました。

- ・対応言語：日本語、英語、中国語、ポルトガル語、タイ語、タガログ語、スペイン語、韓国語、インドネシア語、ベトナム語（10言語）

また、外国人が身近で日本語を習得する機会が得られるよう、日本語教室の開講・運営について支援しました。

◇多言語でのホームページ、フェイスブックなどにより情報を提供しました。

- ・情報発信件数 330件
- ・ホームページアクセス数（日本語及び多言語） 22,402件

◇多言語での生活ガイドブック、災害時マニュアル、メディカルハンドブック等を配布及び電子書籍により情報提供しました。

◇3言語（英語、中国語、ポルトガル語）での外国人児童生徒のための健康手帳を配布及び電子書籍により情報提供しました。

◇多言語生活情報リンク集の運用

令和元年度に多言語で立ち上げたポータルサイトにおいて、国や公的機関が発信する生活関連情報を随時更新しました。

- ・対応言語：日本語、英語、中国語、ポルトガル語、タイ語、タガログ語、スペイン語、韓国語、インドネシア語、ベトナム語
- ・対象者：在留外国人
- ・内容：生活全般、出入国・在留資格、労働、出産・子育て、日本語学習、年金・福祉、防災、他

◇外国人の日本語学習の支援

（公財）茨城県国際交流協会日本語教育アドバイザー派遣事業により、日本語教授法講座を実施するボランティア日本語教室を支援しました。

- ・アドバイザー登録者数 20名
- ・派遣期間 令和3年8月1日～令和4年2月28日
- ・派遣先 8団体
- ・参加者数 202名

また、当該事業の1案件として「外国人児童・生徒に対する日本語教育支援者養成講座 実践編」を開催しました。

日時：11月18日（木）11月25日（木）10：00～16：00

（5時間／日×2回＝全10時間）

講師：武田 由美氏（公益社団法人国際日本語普及協会（AJALT）講師）

開催場所：ザ・ヒロサワ・シティ会館分館2階 集会室10号

共催：茨城県

参加者：第1回 56名 第2回 54名

◇地域日本語教育の体制づくり事業（受託）

多文化共生社会の推進、外国人に選ばれる県づくりのため、県内どこにいても日本語学習の機会が得られる環境を構築しました。

① 地域日本語教育関係者連絡会議の開催

県内市町村、日本語ボランティア教室等を対象に、日本語教育に係る行政情報の伝達や情報交換、地域日本語教育に関連した研修を実施しました。

内容：事業説明（茨城県女性活躍県民協働課、茨城県国際交流協会）

地域日本語教育に関連した研修

テーマ：「対話から始める地域の教室」～活動例を通して～

講師：松尾 恭子氏（公益社団法人国際日本語普及協会（AJALT）所属
日本語教師）

開催：オンライン開催

日時：9月18日（土）、21日（火）、28日（火）、10月9日（土）

各日ともに13：30～16：00

参加：28名（9／18）、35名（9／21）、23名（9／28）、
15名（10／9）

②新規学習支援者の開拓講座

地域日本語教育人材の確保に資するため、新たな日本語学習支援者の開拓講座を実施しました。

10月～11月 県央の日本語ボランティア教室がない2町（茨城・城里）を主対象に実施（オンライン開催）

日時：10／30（土）、11／3（水・祝）、7（日）、13（土）、21（日）

10／30は9：15～12：30、ほか9：30～12：30

申込：17名

参加：15名

令和4年1月～2月 県内全域を対象に実施（オンライン開催）

日時：1／18（火）、21（金）、25（火）、28（金）、2／1（火）、4（金）、

8（火）、11（金・祝）、15（火）、18（金）

1／18は19：00～20：45、ほか19：00～20：30

申込：46名

参加：38名

③ 地域日本語教育コーディネーターの育成等

文化庁主催の「地域日本語教育コーディネーター研修」受講者のうち活動可能な方に、地域課題を抽出し解決に向けた取組を行っていただきました（オンライン開催）。

4月30日（金） コーディネーター会合 （事業計画について、他）

5月25日（火） 同上 （事業の進め方、他）

6月 5日（土） アドバイザー対象の説明会（体制づくり事業の説明、意見交換）

7月19日（月） コーディネーター会合 （具体的な取組、他）

② 外国人相談体制の充実

在県外国人が生活する上での疑問や問題を解決するため、弁護士会などの協力のもと、法律、労働、教育、婚姻など生活全般について年間を通じ相談事業を行いました。

また、市町村や民間国際交流協力団体とも連携し、地域における外国人対応や相談の環境を整えました。

◇外国人相談センターでは多言語による相談に対応できるよう、相談体制及び情報通信環境の整備など更なる充実を図りました。

- ・対応言語 日本語、英語、中国語、ポルトガル語、タイ語、タガログ語、スペイン語、韓国語、インドネシア語、ベトナム語、 他
- ・相談件数 1,157件

項目	件数	割合
出入国管理・在留カード	149件	12.9%
労働関係・雇用・労災	57件	4.9%
起業・会社設立・貿易	13件	1.1%
結婚・離婚、夫婦、親子、家族	122件	10.5%
国籍・帰化	29件	2.5%
留学・研修	2件	0.2%
医療関係	124件	10.7%
社会保障・年金・保険	36件	3.1%
税金	6件	0.5%
教育、文化	16件	1.4%
住居・暮らし、交通・免許	154件	13.3%
言語・翻訳・通訳	272件	23.5%
案内・問い合わせ	155件	13.4%
その他	22件	1.9%
合計	1,157件	100.0%

◇無料弁護士相談の実施

毎月2回、高度な法律の相談について、弁護士相談を実施しました。

相談形式：対面方式またはオンライン（Skype, LINE, Messenger）

- ・実施場所 水戸市（茨城県国際交流協会 相談室）

- ・対応弁護士 2名
- ・実施回数 24回
- ・相談件数 89件

◇休日無料法律相談の実施

➤県西地域において、関東弁護士会連合会及び茨城県弁護士会、筑西市と共催で、多言語による休日出張弁護士相談を実施しました。

- ・実施日 令和3年11月14日（日）
- ・実施場所 しもだて地域交流センター「アルテリオ」
- ・相談言語 日、英、中、韓、タイ、タガログ、ポルトガル、スペイン、ベトナム、インドネシア語、他
- ・相談対応者 弁護士6名、協会相談員9名、語学サポーター2名
- ・相談件数 24件
- ・共催 茨城県弁護士会、関東弁護士会連合会、筑西市
- ・HP、ポスター、ちらし、SNS等で周知・広報

➤県南地域において、茨城県弁護士会及び土浦市と共催で、多言語による休日出張弁護士相談を相談ブースと弁護士等をオンラインでつないで実施しました。

- ・実施日 令和4年2月6日（日）
- ・実施場所 土浦市役所（相談ブース）、協会等（弁護士、相談員）
- ・実施形式 Zoomを使用したオンライン形式（まん延防止等重点措置期間のため）
- ・相談言語 日、英、中、韓、タイ、タガログ、ポルトガル、スペイン、ベトナム、インドネシア語、他
- ・相談対応者 弁護士3名、協会相談員9名
- ・相談件数 11件
- ・共催 茨城県弁護士会、土浦市
- ・HP、ポスター、ちらし、SNS等で周知・広報

◇相談員研修の実施

- ・専門的な知識を蓄積することや相談対応についての検証等を目的に研修を実施しました。
- ・相談センター主催研修の実施 7回（うち2回は外部講師を招いての研修）

外部講師：① 外国人技能実習機構（OTIT）職員による講義

② 東京出入国在留管理局 受入環境調整担当官による講義

「退去強制手続き」「新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る上陸拒否」

◇市町村、及び地域のボランティアとの連携による外国人対応や相談体制の整備

・市町村等県内の外国人対応・相談担当者や当協会登録の「外国人のための地域生活アドバイザー」を対象に、外国人が安心して生活するための窓口対応等を目的とした研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

③ 多文化共生のためのサポーターバンクの運営

多文化共生の地域づくりを推進するため、語学ボランティアや日々の生活へのアドバイスをしてくれる人材を発掘登録することで外国人の支援者拡大を図りました。

◇外国人支援のための「語学サポーター」、「災害時語学サポーター」、「医療通訳サポーター」、「外国人のための地域生活アドバイザー」や相互理解を進めるための「各国事情紹介講師」、

「ホームステイホストファミリー」等の人材登録を推進し、活用を図りました。

登録活動状況

区 分	登録状況	活動状況
語学サポーター	31 言語 278 名	12 件 17 名
医療通訳サポーター	19 言語 135 名	4 件 4 名
災害時語学サポーター	20 言語 156 名	0 件 0 名
外国人のための地域生活アドバイザー	59 名	21 件 21 名
各国事情紹介講師	170 名	27 件 53 名
ホームステイ・ホストファミリー	86 名	1 件 6 家庭
合 計	延べ 884 名	65 件 95 名 6 家庭

④ 災害時・緊急時の在住外国人支援体制の充実・強化

災害時・緊急時には特に日本語が不自由であったり、生活環境に不慣れな外国人への支援のため、災害時の連携体制の強化を図りました。また、医療機関等で外国人がスムーズに受診できるような環境の整備を進めました。

◇広域での連携による災害時の支援体制の整備

➤令和3年度災害時外国人支援研修（入門研修）に参加し、県内市町村担当課、市町村国際交流推進組織等とともに、災害時の外国人支援の現状と課題について理解を深めました。

- ・主 催 者 茨城県
- ・実 施 日 令和3年10月26日（火）10：00～12：00
- ・内 容 説明 茨城県の災害対応等について（茨城県女性活躍・県民協働課）
講義 「災害時における外国人住民への基本的な対応」
講師 NPO 法人多文化共生マネージャー全国協議会 代表理事 土井佳彦氏

➤令和3年度災害時外国人支援研修（専門研修）に参加し、県内市町村担当課、市町村国際交流推進組織等とともに、災害在住外国人への情報提供と「やさしい日本語」について理解を深めました。

- ・主 催 者 茨城県
- ・実 施 日 令和3年11月10日（水）13：00～16：30
- ・内 容 事例発表 「水戸市における防災への取組み - 協働でつなぐ協力の輪 -」
発表者 公益財団法人水戸市国際交流協会 竹内繁氏
講義・演習 「災害時における効果的な情報提供～外国語と「やさしい日本語」～」
講師 NPO 法人多文化共生マネージャー全国協議会 代表理事 土井佳彦氏

➤令和3年度災害時外国人支援研修（実地研修）

- ・主 催 者 茨城県
- ・実 施 日 令和3年12月3日（金）10：00～16：00
- ・内 容 かすみ防災アリーナ（神栖市）にて、実地研修

➤関東地域国際化協会連絡協議会と連携し、災害時の多言語情報翻訳シミュレーション訓練を実施しました。

2021年度 CLAIR 関東ブロック災害時対応訓練

- ・参加者 一般財団法人自治体国際化協会（クレア）関東ブロックメンバー13団体
- ・実施日 令和3年11月11日（木）午前
- ・内容 大型台風が発生したことを想定し、ブロック内の各協会の被災状況、外国人支援内容、ブロック内連携可能業務について確認。翻訳支援連携のシミュレーションを実施。

➤災害時に外国人支援に従事する関係者向け研修・訓練（関東ブロック現地訓練）

- ・主催者 一般財団法人自治体国際化協会
- ・実施日 令和4年1月17日（月）10：15～16：40
- ・内容 東京体育館（東京都渋谷区）にて、災害多言語支援センター設置訓練

◇災害時マニュアルの配布と電子書籍での提供（9言語）{1（1）①参照}

◇多言語での外国人医療サポートの実施

- ・13言語でのメディカルハンドブックにより外国人が医療関係者とのコミュニケーションを容易にできるよう支援しました。{1（1）①参照}
- ・病院等、医療機関からの要請により、医療通訳サポーターを派遣しました。

（2）外国人による地域活動の推進

① 在住外国人や留学生の地域活動への参画拡大

地域社会における多文化共生推進の担い手として、外国人住民が自ら活動できるよう、地域の人材の発掘・活用に努め、イベントや講座等、地域活動への参加を促進しました。また、留学生や本県在住の外国人等、グローバルな人材により、地域の魅力発信等の活動を推進しました。

◇ワールドキャラバン国際理解教育講師等派遣事業の実施{3（2）①参照}

◇「ふれあい茨城」交流の広場での外国人の地域活動記事紹介{2（1）①参照}

◇外国人の多文化共生サポーターバンクへの登録・活用{1（1）③参照}

2 グローバル交流・協力の推進

（1）国際活動情報の提供

① 機関誌やホームページ等を活用した情報提供

県民のグローバル交流を活性化するために、海外の情報や、国際機関、県、各種団体等の国際交流情報を集積・提供しました。

◇機関誌「ふれあい茨城」の発行

協会や民間国際交流・協力団体の活動や、国際理解を推進するための情報を紹介する機関誌を発行しました。

・発行時期 年2回（9月、3月）

・発行部数 各4,000部

◇ホームページによる情報提供

当協会の事業、及び県内の国際交流活動団体の情報を集積・発信するとともに、随時県内外の国際活動関連の記事やイベント情報等を発信しました。

また、当ホームページが現行のインターネット環境に合わない等利用しにくいことから、幅広い閲覧者が情報をわかりやすく入手できる利用価値の高いホームページとするための改修を実施しました。

業 務 名 : (公財) 茨城県国際交流協会ホームページリニューアル業務委託

履行期間 : 令和3年10月20日から令和4年3月31日まで

内 容 : サイト設計・デザイン・機能・コンテンツ等のリニューアル

契約金額 : 3,438,600円

◇国際ナショナルライブラリーの運営

国際交流、国際理解、日本語教育、国際協力等、国際活動に関わる雑誌、図書等を収集及び貸出しをしました。

・蔵書数 書籍等1,212冊、ビデオ等92本

・貸出数 書籍11冊、ビデオ等0本

(2) 国際交流・協力の推進

① 県民の国際交流活動の推進

県、市町村、市町村国際交流推進組織、民間国際交流協力団体等との連携により、県民の国際交流活動への参加を促し、活動の充実を図りました。また、外国人が住みやすい環境を整備するために、関連機関と連携し地域住民と外国人との交流を推進しました。

◇国際交流・協力ネットワーク会議の開催

民間国際交流・協力団体や市町村の国際交流担当者等を対象に活動の情報交換及び研修を実施しました。

・開催日 令和3年7月16日(金)

・場 所 オンライン(ホスト:協会サロン)

・対 象 市町村、市町村国際交流協会、民間国際交流・協力団体、日本語ボランティア教室等

・参加者 104名

・内 容 1)講演「新たな共生施策の推進と地域に求められる取り組みについて
～コロナ禍でも加速する外国人受入れの課題と展望～」

講師 一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事 田村 太郎 氏

2)分科会

第1分科会:多文化共生ネットワーク会議

「多文化共生時代の地域防災について考える」

第2分科会:日本語ボランティアネットワーク会議

講演:「茨城県による外国人児童・生徒の日本語教育の取り組みについて」

意見交換会:茨城県地域日本語教育の体制づくりにおける取り組みについて

◇イベントや地域活動等への在住外国人の参加支援と交流機会の提供

新型コロナウイルス感染拡大によりイベント開催がなく、出展参加は見送りました。

◇茨城県国際交流協会事業ボランティアの登録・活用

協会が主催する各種事業(外国人による日本語スピーチコンテスト等)に協力を得られるボランティアの登録を促進し、協会事業の円滑な運営を図りました。

・登録活動状況

登録者数 13名

◇研修室の貸出し

国際活動を実践するボランティア団体等に研修室やボランティアルーム等活動場所を提供

しました。

② 国際協力活動の推進

(独)国際協力機構筑波センター(以下「JICA筑波」と連携し、途上国支援等国際協力に関する事業を行いました。また、海外の自然大災害時の被災国支援やNGO活動の支援を行いました。

◇JICA海外協力隊等、国際協力への参加促進

◇高校生のための地球市民講座の開催{3(2)②参照}

◇義援金・書き損じはがき等の募集

・県民の協力により書き損じはがき、外国コインなどを収集換金し、国際協力を行っている団体の活動を支援しました。

区分		実績	支援団体
書き損じ葉書		1,679 枚	茨城キリスト教学園キリスト教センター NPO 法人シェア
切手	未使用	額面 66,805 円	
	使用済	約 3.8 kg	
外国紙幣		66 枚	NPO 法人日本国際ボランティアセンター
外国コイン		約 4.7 kg	茨城県ユニセフ協会、日本ユニセフ協会
現金類		23,582 円	

・海外で発生した大規模自然災害について、「NGO茨城の会」と協働で街頭募金(※コロナ禍により中止)や銀行に義援金口座を開設するなど募金活動を行い、被災地の援助に役立ちました。令和3年度は、下記募金を募集し、支援団体に寄付しました。

名称：ハイチ地震被災者緊急支援義援金の募集

内容：「NGO茨城の会」との協働による振込用口座開設

実施期間：令和3年9月1日(水)～令和3年11月30日(火)

団体名	現地での活動内容	寄付額 (円)
(特活) AMDA (アムダ)	医療チームによる無料の診察・処置・薬の提供。食料などの物資支援	132,238
(特活) ピースウィンズ・ジャパン	ハイチ南県にある障がい者施設の施設備品及び食料支援	132,238

(3) 経済交流への支援

① 企業の海外展開等への協力

留学生等グローバルな人材の活用による県内企業の海外進出や対日投資への協力は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、特筆すべき対応実績はありませんでした。

② 外国人による茨城の魅力発信

◇留学生研修の実施

留学生が本県への理解を深め、本県情報を発信するために、県内の企業・文化施設を訪問する研修を実施しました。{3(2)③参照}

③ 観光分野等の語学協力

新型コロナウイルスの感染拡大により、協力依頼がありませんでした。

3 グローバル社会へ向けた人づくり

(1) 国際理解を推進するための事業実施体制の整備

① 県や関係機関との横断的連携体制の整備

国際理解を推進するために県や関係機関との横断的連携体制をとるとともに、留学生や在住外国人及びファシリテーター等国際理解をすすめる人材の発掘・育成を図りました。また、教材収集など事業実施体制を整備しました。

◇茨城県国際理解教育推進協議会の運営

当協会、県、県教育委員会、JICA筑波、大学留学生協議会等関係8団体による協議会を運営し事業を効果的に行いました。

- ・幹事会 令和3年7月29日(木)
- ・総会 令和4年3月16日(水)

◇茨城県留学生親善大使の任命

県内の留学生を茨城県留学生親善大使に任命し、国際理解事業や国際交流事業に派遣することにより、県民の国際活動を推進しました。

〈任命期間〉 令和3年6月から2年間

〈対象〉 県内大学等に在籍する留学生

- ・令和3年度登録者 17ヵ国61名
- ・任命式 令和3年6月26日(土)
- ・ワールドキャラバン派遣者数 延べ32名

◇国際理解教材収集・貸出しの実施

県内の国際理解教育を実施するため、各国からの教材を収集し貸出しを行いました。

- ・対象 県内学校、国際理解教育を行う民間団体等
- ・教材数 102ヵ国 916点
- ・収集内容 国旗、民族衣装、工芸品、図書等
- ・貸出実績 11回

(2) 相互理解・国際理解の推進

① 県民の国際感覚醸成

互いの生活、文化、習慣の違いを認識し、外国人と地域住民が協力して多文化共生地域づくりをすすめられるよう県民の国際感覚を醸成し、相互理解・国際理解を促進しました。事業の実施にあたっては留学生親善大使や県内に在住する外国人の活用を図りました。

◇ワールドキャラバン国際理解教育講師等派遣事業の実施

外国人講師及びファシリテーター等を学校や生涯学習の場に派遣し、異文化に触れたりワークショップを体験したりするなど国際理解教育の機会を提供しました。

- ・時期 令和3年9月～令和4年2月
- ・場所 県内学校、生涯学習関連団体活動場所等
- ・講師 留学生、国際交流員、県内在住外国人、海外国際活動経験者及び当協会登録ファシリテーター等

ワールドキャラバン国際理解教育講師等派遣事業派遣実績

区 分		派遣回数	参加者数
派遣先	小 学 校	12 回	829 名
	中 学 校	4 回	428 名
	高等学校 (含 中等教育学校)	11 回	1958 名
	特別支援学校	6 回	150 名
	生涯学習関連施設等	17 回	379 名
	合 計	50 回	3744 名
派遣講師数		231 名	
派遣コーディネーター数		6 名	

◇外国人による日本語スピーチコンテスト

在住外国人の日本社会への意見などを聞くことで県民との相互理解を図るとともに、外国人に日本語による意見発表の機会を提供することで日本語学習意欲を醸成しました。国の「まん延防止等重点措置」が茨城県に適用されたため無観客開催とし、YouTube ライブ配信を行って多くの方々にご自宅等で視聴いただきました。

- ・時 期 令和4年2月19日(土) 13:00～16:00
- ・場 所 ザ・ヒロサワ・シティ会館 小ホール
- ・発表者 県内在住外国人15名(当日欠席1名)
- ・本審査 知事賞、県議会議長賞、教育長賞、ひばり賞、特別賞(審査員7名により審査)
特別栄誉賞 日本語ボランティア賞、若人賞

◇世界文化セミナーの実施

本県在住の外国人を講師として迎え、文化・社会について話し合いをする英語によるセミナーを実施しました。※オンライン開催

- ・時 期 春コース：4月～7月(水曜 午後クラス 8回)
秋コース：10月～2月(水曜 午後クラス 8回)
- ・対 象 県民

春 期	令和3年4月14日(水)～7月14日(水) 全8回 (参加者 午後クラス37名)
秋 期	令和3年10月20日(水)～令和4年2月9日(水) 全8回 (参加者 午後クラス35名)

② 世界で活躍する人材の育成

特に若い世代の活動を支援し、将来世界で活躍する人材の育成を図るために、海外研修や、国際体験を促進するための事業を実施しました。

◇海外研修の実施

大学生等を対象とし、将来世界で活躍する人材や地域で国際交流を推進する人材を育成するため、海外研修を企画する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止及び各国において入国制限措置や入国後の行動制限措置がとられていることから、中止することとしました。

◇高校生のための地球市民講座の開催

高等学校やJICA筑波と連携し、高校生を対象にワークショップ等を通して国際協力への理解を深めます。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模及び内容の大幅縮小で開催を予定していましたが、緊急事態宣言が発令されたことにより、中止となりました。

◇日本発/世界発 青年のメッセージ

茨城県高等学校国際教育研究協議会が実施する国際教育弁論大会にあわせて、当協会が留学生によるシンポジウムを主催することで、日本の若い世代へのメッセージを発信します。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止となりました。

◇インターンシップ等の受け入れ

日本人学生、外国人留学生等を対象に当協会においてインターンシップ研修を実施しました。

➤・筑波大学生、茨城キリスト教大学生 各1名(女性活躍・県民協働課インターンシップ生)

・期 間 令和3年8月11日(水)(女性活躍・県民協働課受け入れ3日間のうちの半日)

・内 容 協会の事業概要の説明、協会職員との意見交換等

➤・茨城大学生、茨城キリスト教大学生 各1名

・期 間 令和3年9月10日(金)

・内 容 協会の事業概要の説明、協会職員との意見交換等

➤・ブタペストメトロポリタン大学 1名

・期 間 令和4年2月10日(木)～3月31日(木)

・内 容 協会の事業の就業体験や協会職員との意見交換等

(外国人留学生は該当なし)

③ 留学生の多様な社会体験機会の提供

留学生の活動を支援することで、将来地域社会に貢献し本県との架け橋となる人材の育成を図りました。

◇クエスト茨城留学生研修

県内で学ぶ留学生を対象として、茨城県に立地する企業、文化施設、史跡などを訪問し、茨城県についての理解を深めました。

・第1回 日 時 令和3年7月10日(土)

参加者 20名

訪問先 製陶ふくだ(笠間焼窯元)、笠間稻荷神社

・第2回 日 時 令和3年11月27日(土)

参加者 19名

訪問先 株式会社フジキン、筑波山

◇ワールドキャラバン国際理解教育講師等派遣事業の実施{3(2)①参照}

◇茨城ふるさとファミリー事業

留学生や在県外国人が当協会登録のボランティアの家庭にホームステイをすることをきっかけに継続的交流をし、「茨城の家族」を作る場を提供しました。

・時 期 令和3年10月2日(土)・3日(日)

・対 象 留学生親善大使 6名、受入 6家庭

4 上海事務所運営事業

県内企業の活動支援や中国に関する情報の収集・提供や友好交流活動の支援等を実施しました。

(1) 本県産業拡大支援

見本市への出展等により、本県の観光物産、県産品や茨城空港の PR を実施したほか、対日投資促進に向けた PR 活動を実施しました。

【主な出展行事等】

- ・日中韓マッチング協力発展山東大会
日時 2021年4月24日(土)～26日(月)
場所 山東大廈(山東省済南市)
内容 対日投資のPRを実施
- ・蘇州ジャパンプランドフェア
日時 2021年5月15日(土)～16日(日)
場所 イオンモール蘇州園区湖東店(江蘇省蘇州市)
内容 県内観光地や県産品(笠間焼等)のPRを実施
- ・貴州日本酒プロモーション商談会
日時 2021年5月26日(水)
場所 万麗酒店ホテル(貴州省貴陽市)
内容 笠間焼のPRを実施
- ・長沙ジャパンプランドフェア
日時 2021年6月5日(土)～6日(日)
場所 平和堂五一広場店(湖南省長沙市)
内容 県内観光地や県産品(笠間焼等)のPRを実施
- ・西安シルクロード国際旅遊博覧会
日時 2021年7月16日(金)～18日(日)
場所 西安国際会展中心(陝西省西安市)
内容 県内観光地のPRを実施
- ・中国西部国際博覧会
日時 2021年9月16日(木)～20日(月)
場所 中国西部国際博覧城(四川省成都市)
内容 笠間焼のPRを実施
- ・寧波ジャパンプランドフェア
日時 2021年10月16日(土)～17日(日)
場所 寧波阪急(浙江省寧波市)
内容 県内観光地や県産品(笠間焼等)のPRを実施
- ・第2回上海ハロウィンパーティ2021
日時 2021年10月23日(土)
場所 上海ガレリア芸術中心(上海市)
内容 茨城県大洗ホテルからのライブ中継など県内観光地のPRを実施
- ・青島ジャパンプランドフェア
日時 2021年10月30日(土)～31日(日)

- 場所 イオンモール青島西海岸新区店（山東省青島市）
- 内容 県内観光地や県産品（笠間焼等）のPRを実施
- ・武漢ジャパンブランドフェア
 - 日時 2021年11月27日（土）～28日（日）
 - 場所 イオンモール経開店（湖北省武漢市）
 - 内容 県内観光地や県産品（笠間焼等）のPRを実施
- ・雲南日本商業交流ミニアプリPRイベント
 - 日時 2021年12月4日（土）～5日（日）
 - 場所 愛琴海購物公園広福路店（雲南省昆明市）
 - 内容 笠間焼オーダーメイド食器の商談を実施
- ・広州ジャパンブランドフェア
 - 日時 2022年2月26日（土）～27日（日）
 - 場所 広州POPARK（広東省広州市）
 - 内容 県内観光地や県産品（笠間焼等）のPRを実施
- ・天津ジャパンブランドフェア
 - 日時 2022年3月12日（土）～13日（日）
 - 場所 天津仁恒伊勢丹
 - 内容 県内観光地や笠間焼（向山窯オーダーメイド）のPRを実施

（2）企業のビジネス活動への支援

商談会への合同出展、現地バイヤーとのマッチングや中国の経済事情の調査等を実施し、県内企業の中国における販路開拓を支援しました。

- ・中国西部国際博覧会
 - 日時 2021年9月16日（木）～20日（月）
 - 場所 中国西部国際博覧城（四川省成都市）
 - 内容 笠間焼のPRを実施
- ・第4回中国国際輸入博覧会
 - 日時 2021年11月5日（金）～10日（水）
 - 場所 国家会展中心（上海市）
 - 内容 県内出展企業（製造業企業）の商談対応補助を実施
- ・雲南日本商業交流ミニアプリPRイベント
 - 日時 2021年12月4日（土）～5日（日）
 - 場所 愛琴海購物公園広福路店（雲南省昆明市）
 - 内容 笠間焼オーダーメイド食器の商談を実施
- ・重慶青山スクエア 笠間焼・結城紬商品販売イベント
 - 日時 2022年3月5日（土）
 - 場所 重慶青山スクエア（重慶市）
 - 内容 笠間焼と結城紬の販売を実施

（3）友好交流活動への支援

中国事情に関する情報提供を実施しました。

(4) 上海ネットワーク構築事業

ア 上海茨城県人会運営協力

上海市等に在住している本県出身者のネットワークを新たに茨城のPR組織として位置付け、中国人との交流を図ることで、観光インバウンド促進や県産品の知名度向上、対日投資促進につなげています。今年度は上海市からのイベント開催自粛の要請を受け、県人会の開催を見送ります。

イ 上海茨城留学生協議会運営協力

本県への留学経験者のネットワークを新たに茨城のPR組織として位置付け、上海茨城県人会と連携した活動を展開しています。今年度は上海市からのイベント開催自粛の要請を受け、留学生協議会の開催を見送ります。

(5) 情報収集・提供事業

- ・中国人向けに、ソーシャルネットワーク「微博」「微信」を活用した情報発信を実施しました。

微博フォロワー数：99,422人、微信フォロワー数：7,132人